

柏市環境基本計画改定 について

平成27年10月14日
柏市環境審議会

目次

1. 基礎調査の修正
2. 施策の設定
3. 施策体系の考え方
4. 基本目標の考え方
5. 基本方針と施策の方向性
6. 代表的指標の考え方

1. 基礎調査の修正

① p.9 第2節 6.地域別特性

意見「沼南地域は分けた方がよい」

- 地域区分を現計画の3区分から、柏市第五次総合計画策定で検討されている4区分に変更
- それに伴い、地域別特性の記載内容を変更

② p.14 第3節 1.低炭素社会の構築

意見「地球温暖化への適応策が今後基礎自治体に広がっていく」

- 温暖化への適応策を課題に追記

2. 施策の設定

【施策体系の要素】

社会的動向

- ✓国際情勢
- ✓法改正等への対応 など

柏市の現状及び 今後の予測

- ✓市内人口の予測
- ✓土地利用の変遷
- ✓現計画の評価 など

まちづくりの 将来動向

- ✓今後の柏市のまちづくりとのかかわりあい など

基礎調査



次期計画の施策体系の作成

4つの地域区分

※図は地域区分のイメージです

北部ゾーン

中央ゾーン

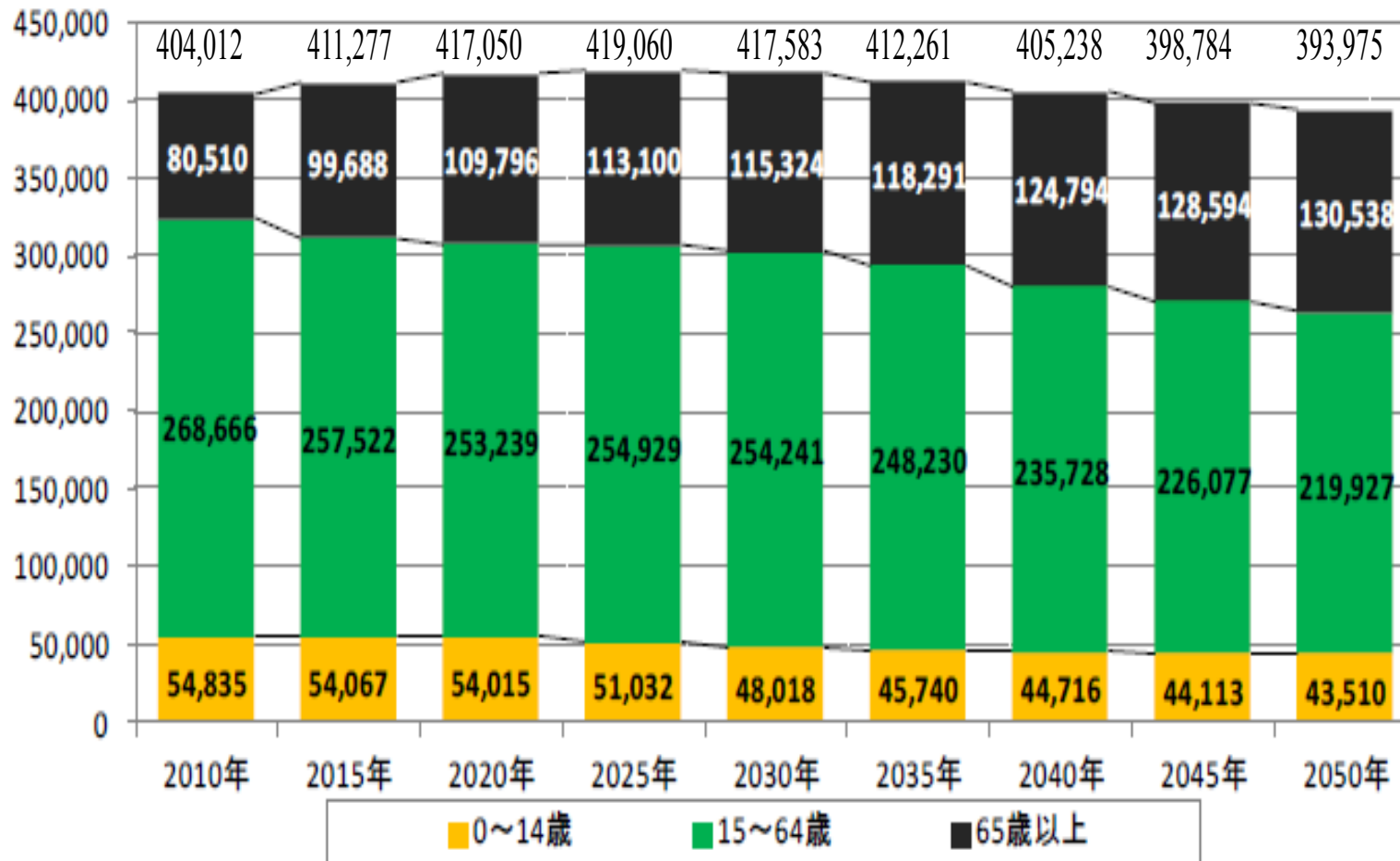
南部ゾーン

東部ゾーン



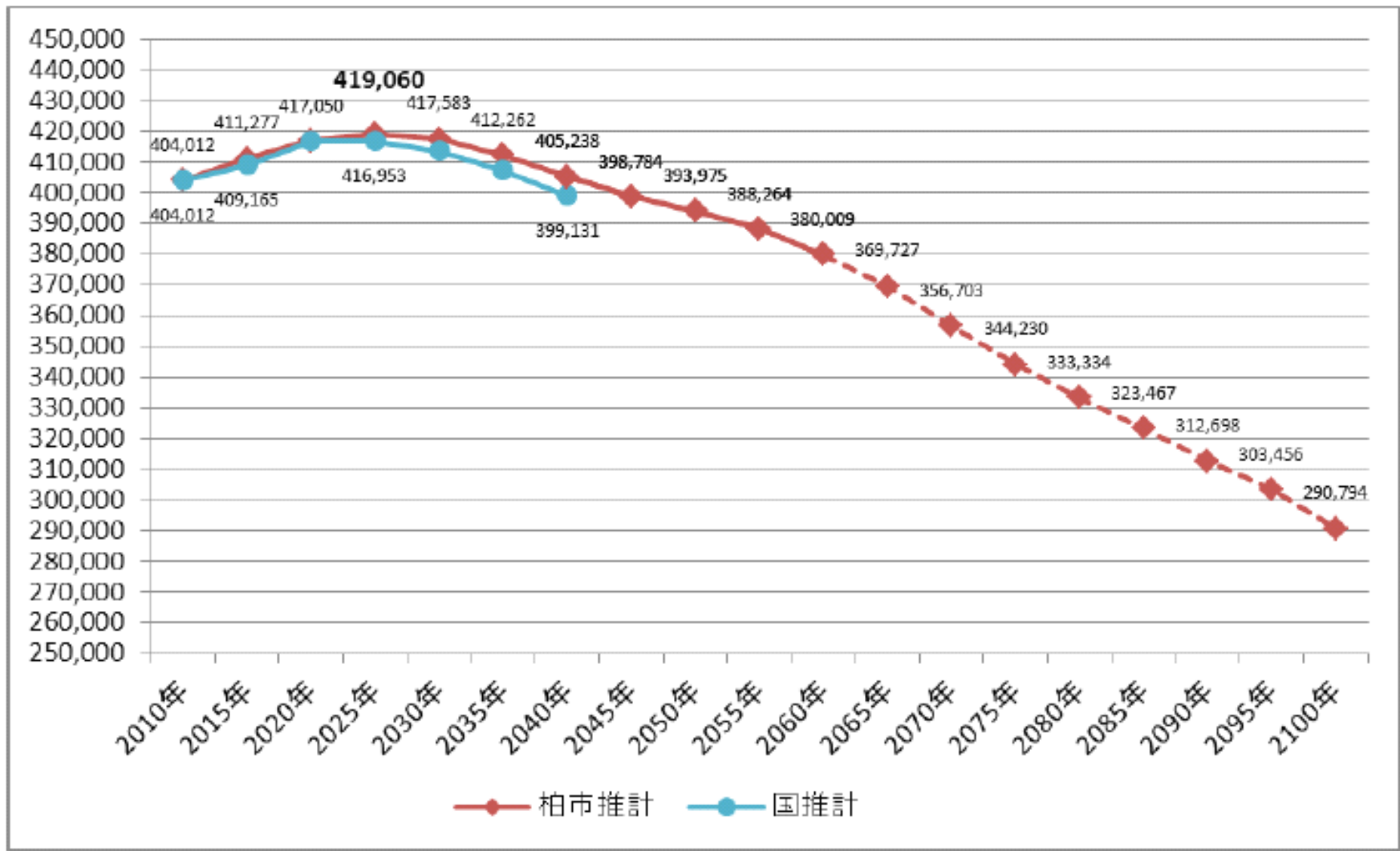
【柏市の人口予測】

- ◆平成37(2025)年をピークに本格的な減少局面
- ◆急速に少子“超”高齢化
- ◆地域間での世代構成の差がある



柏市第五次総合計画基本構想案(平成27年9月)より

【人口予測(～2100年)】



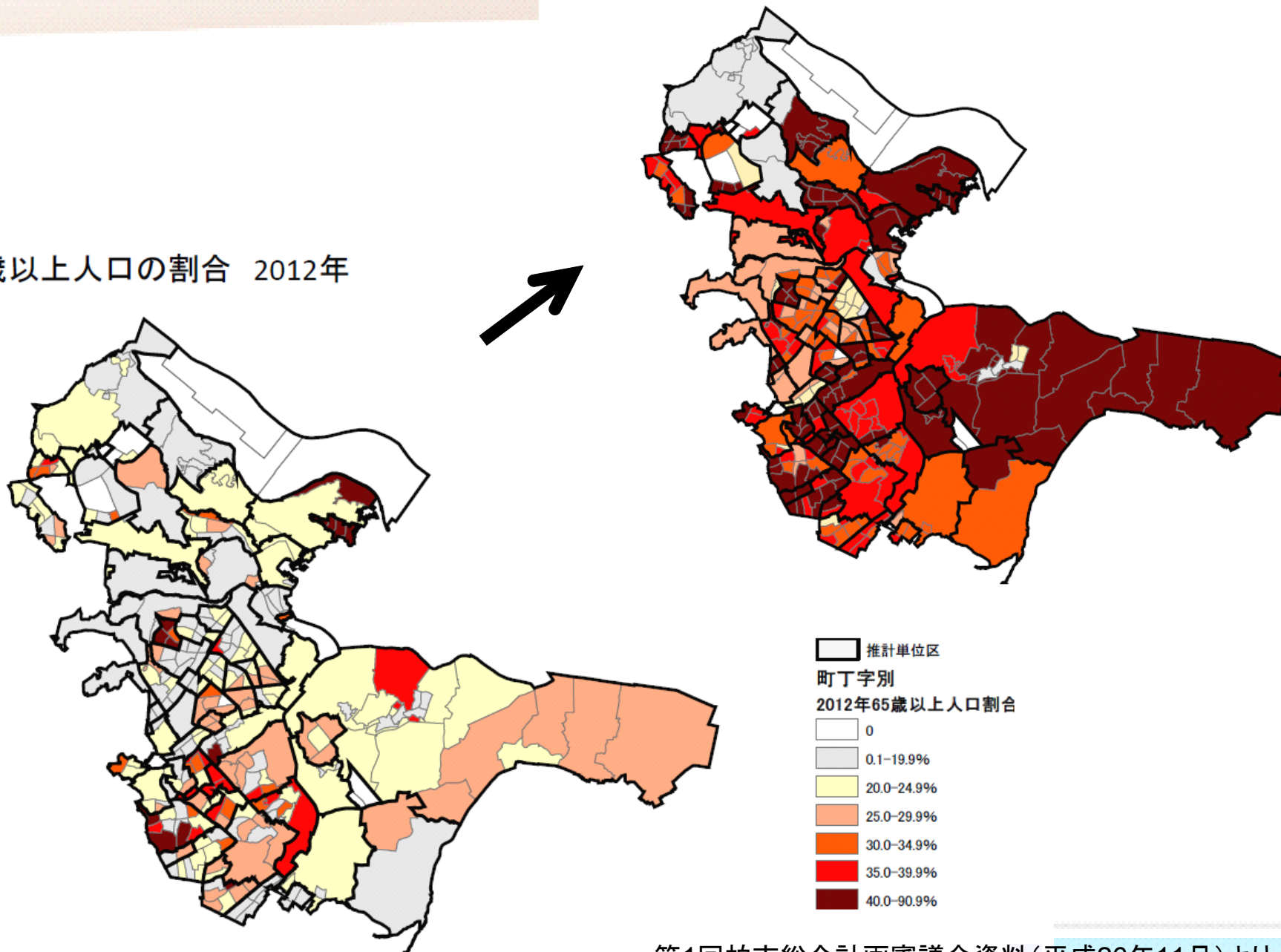
柏市第五次総合計画基本構想案(平成27年9月)より

各コミュニティエリアの推計結果

地区	2005年 人口 (人)	2010年 人口 (人)	2005-2010		2010-2025		2010年		2025年	
			増減率 (%)	2025年 人口 (人)	増減率 (%)	65歳以上 人口 (人)	高齢化率 (%)	65歳以上 人口 (人)	高齢化率 (%)	
西原	22,579	23,481	4.0	21,372	▲ 9.0	5,109	21.8	6,960	32.6	
田中	25,757	30,739	19.3	54,095	76.0	4,782	15.6	9,557	17.7	
富勢	25,132	25,054	▲ 0.3	20,952	▲ 16.4	5,280	21.1	7,072	33.8	
松葉	12,911	12,191	▲ 5.6	10,054	▲ 17.5	2,558	21.0	4,570	45.5	
高田・松ヶ崎	16,180	17,930	10.8	19,588	9.2	2,943	16.4	4,886	24.9	
豊四季台	28,871	28,834	▲ 0.1	31,678	9.9	6,569	22.8	8,650	27.3	
新富	25,491	28,361	11.3	32,609	15.0	4,412	15.6	6,716	20.6	
旭町	11,236	11,625	3.5	13,948	20.0	1,688	14.5	2,603	18.7	
柏中央	23,011	24,601	6.9	27,844	13.2	3,982	16.2	6,416	23.0	
富里	11,316	11,634	2.8	10,881	▲ 6.5	2,000	17.2	2,737	25.2	
新田原	9,292	9,033	▲ 2.8	8,663	▲ 4.1	2,145	23.7	2,450	28.3	
永楽台	16,610	16,426	▲ 1.1	16,870	2.7	3,793	23.1	4,618	27.4	
増尾	23,017	22,770	▲ 1.1	19,975	▲ 12.3	5,254	23.1	6,845	34.3	
南部	24,709	25,176	1.9	23,847	▲ 5.3	5,351	21.3	7,222	30.3	
藤心	13,006	13,897	6.9	12,912	▲ 7.1	3,330	24.0	4,172	32.3	
光ヶ丘	30,118	32,045	6.4	31,002	▲ 3.3	6,924	21.6	8,707	28.1	
酒井根	10,759	10,919	1.5	11,584	6.1	2,532	23.2	3,195	27.6	
風早北部	21,324	24,695	15.8	24,061	▲ 2.6	4,734	19.2	7,092	29.5	
風早南部	20,546	21,774	6.0	23,202	6.6	3,664	16.8	5,625	24.2	
手賀	5,182	4,734	▲ 8.6	3,921	▲ 17.2	1,175	24.8	1,515	38.6	

●65歳以上人口の割合 2037年

●65歳以上人口の割合 2012年



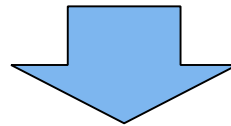
第1回柏市総合計画審議会資料(平成26年11月)より

【柏市の地目面積の変遷】

地目	面積(m ²)		増減率(%)
	平成21年度	平成26年度	
田	14,287,607	13,981,250	▲ 2.14
畑	16,590,273	15,895,828	▲ 4.19
宅地	35,104,737	36,197,945	3.11
池沼	653,103	643,614	▲ 1.45
山林	8,399,936	7,917,870	▲ 5.74
原野	866,540	821,651	▲ 5.18
雑種地	10,849,306	10,711,597	▲ 1.27
その他	28,148,498	28,730,245	2.07
計	114,900,000	114,900,000	

まちづくりの将来動向

- ✓ 今後10年間(平成37年まで)は市域全体では人口が増加するが、増加する地域は限定的で、減少に転じる地域もある。



- ◆ 開発が進む地域では、低炭素まちづくりを推進
- ◆ 人口減少による人口密度の低下が低下する地域では、一人当たりの居住面積を増やす機会と捉え、「人がゆとりある生活をおくる」という住環境の向上につなげる。

3. 施策体系の考え方

- I. 望ましい環境像は今後にも通じるものであるため、継承
- II. 基本目標の分野設定は現計画と同じく、市環境基本条例に定める「環境の範囲」に従い、「自然環境」「生活環境」「快適環境」「地球環境」とする
- III. 情報発信及び協働は、全基本目標に共通する手法・手段であるため、施策体系から分離

望ましい環境像

基本目標

共に生きるために、環境を守り、
育て、伝えるまち 柏

1 自然環境

『多様な生物が生息できる環境を目指し、豊かで魅力ある自然環境の保全に努めます。』

2 生活環境

『安全で健康に暮らせる生活環境を目指し、また環境への負荷の少ない循環型社会の形成に努めます。』

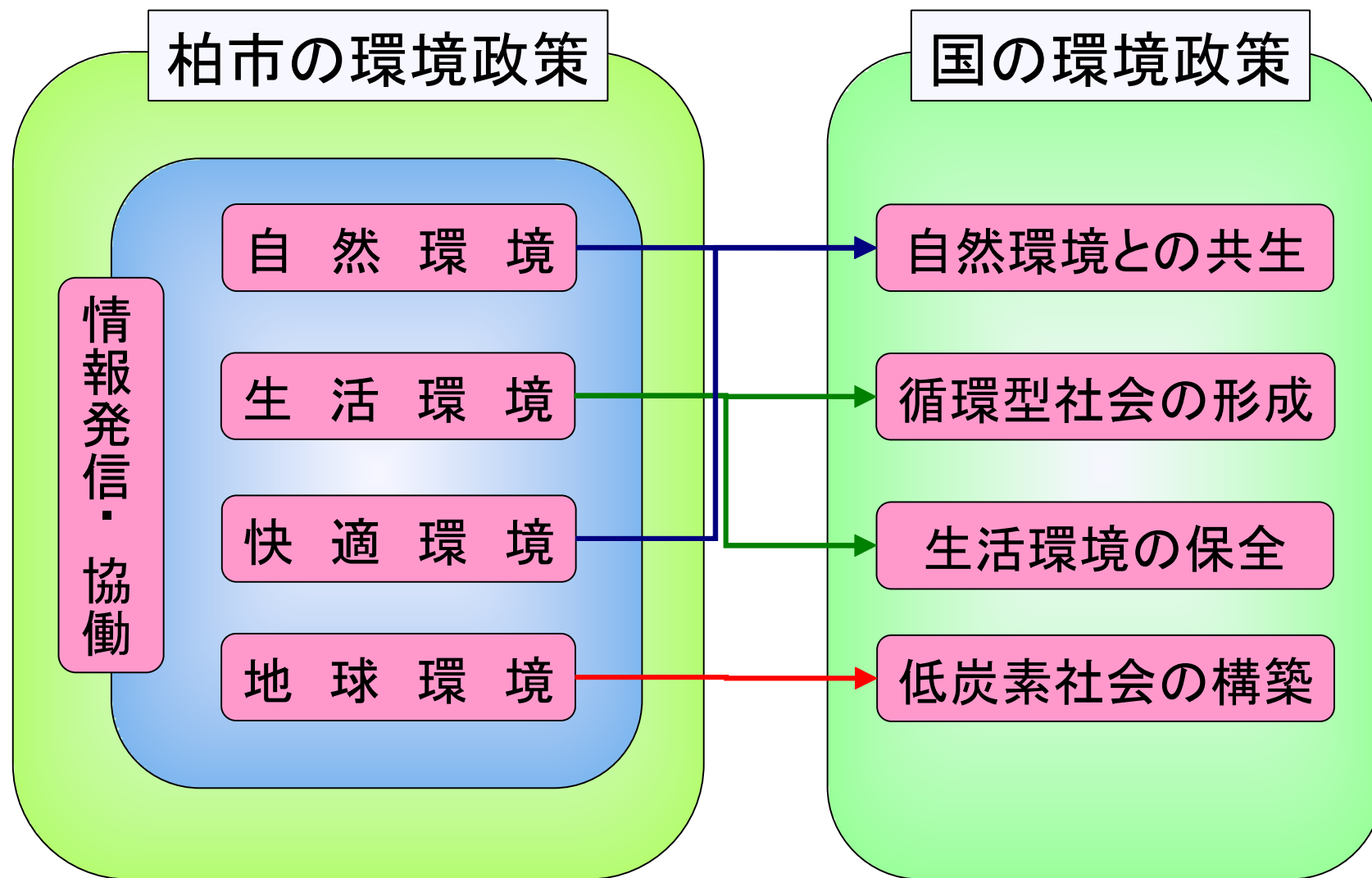
3 快適環境

『景観や環境資源に親しみ、快適で魅力あふれる住環境の形成に努めます。』

4 地球環境

『地球温暖化対策を進め、持続可能な社会の形成に努めます。』

参考



4. 基本目標の考え方

基本目標1 自然環境

多様な生物が生息できる環境を目指し、豊かで魅力ある自然環境の保全に努めます

対象

- 生物，生態系，水域，緑地等の地形等自然的要素
- 主に，市街化調整区域

主な土地利用は農地であり，保全が望まれる自然環境は，農業との『共存』があって成り立つものである。



【農業従事者及び農地の減少】

- ◆第三次産業が伸展している一方で、一次・二次産業は減少傾向にある。
- ◆宅地が増加する一方で、農地(田畑)や山林も減少傾向にある。

●就業者数(人)

年	第一次	第二次	第三次	合計
昭和60	5,316	42,963	91,709	139,988
平成2	4,509	49,578	112,429	166,516
平成12	3,247	44,316	134,646	182,209
平成22	2,296	32,243	139,571	174,110

柏市統計

一次産業の農業については、他産業への就業、農地集積の進展等により、柏市の農業就業人口はこの20年間で約5割に減少した。

●柏市の地目面積

地目	平成21年度	平成26年度	増減率(%)
田	14,287,607	13,981,250	▲ 2.14
畑	16,590,273	15,895,828	▲ 4.19
宅地	35,104,737	36,197,945	3.11
山林	8,399,936	7,917,870	▲ 5.74

固定資産概要調書(平成21年度,平成26年度)より

4. 基本目標の考え方

基本目標2 生活環境

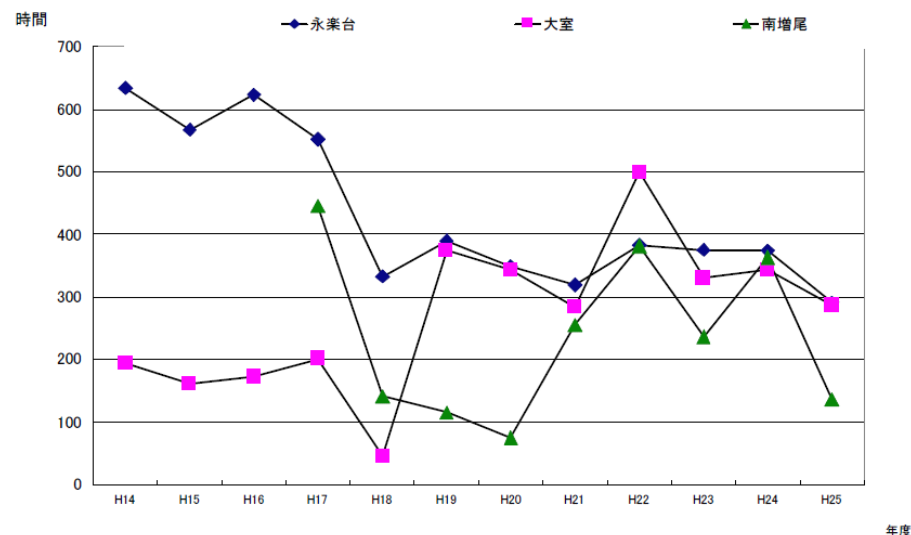
安全で健康に暮らせる生活環境を目指し、また環境への負荷の少ない循環型社会の形成に努めます

対象

■人の生活，活動に伴い環境に変化を与える要素

廃棄物の適正処理の推進，
公害対策そして新たに生じた
様々な化学物質への対応
が求められる。

昼間のオキシダント濃度が0.06ppmを超えた時間数の経年変化



4. 基本目標の考え方

基本目標3 快適環境

景観や環境資源に親しみ、快適で魅力あふれる住環境の形成に努めます

対象

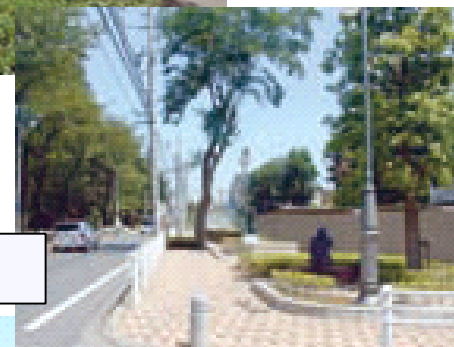
- 人の心に”安らぎ”や”うるおい”を与える要素
- 主に市街化区域

人口減と土地利用低下に対する土地利用策を検討し、住環境の向上の機会と捉える。

身近な都市農地



まちなかの緑



4. 基本目標の考え方

基本目標4 地球環境

地球温暖化対策を進め、持続可能な社会の形成に努めます

対象

■人の活動が地球規模の環境に影響を与える要素

二酸化炭素排出削減が全世界で求められるとともに、将来の避けられない気候変化に適応していく必要がある。

柏市の温室効果ガス排出の部門別割合

平成24（2012）年度	
廃棄物 3.1%	代替フロン類 0.2%
運輸 24.1%	産業 21.0%
業務 25.0%	家庭 26.6%

■ 1986～2005年平均に対する世界平均地上気温の変化（RCPは前提条件を変えた4つの想定）



将来の危険の可能性

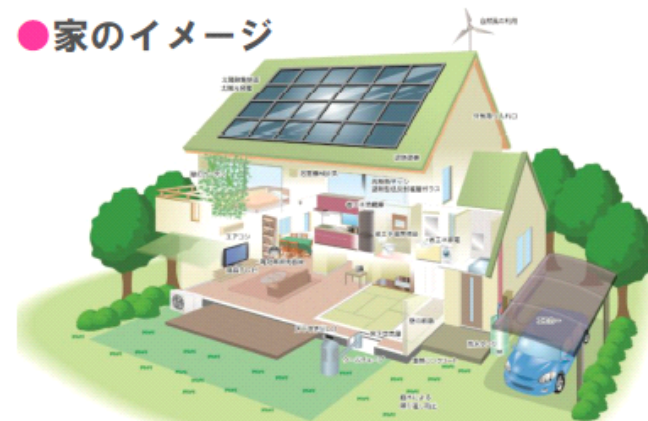
- ①海面上昇, 沿岸での高潮
- ②大都市部への洪水
- ③極端な気象現象によるインフラ機能停止
- ④熱波による死亡や疾病
- ⑤気温上昇や干ばつによる食料安全保障
- ⑥水資源不足と農業生産減少
- ⑦海洋生態系の損失
- ⑧陸域と内水の生態系がもたらすサービスの損失

柏市が描く明るい低炭素社会

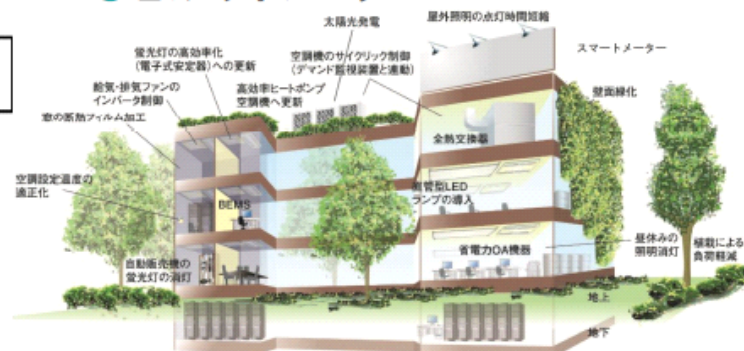
●街のイメージ



●家のイメージ



●ビルのイメージ



CO₂削減効果だけでなく、
経済・健康・安全面などあらゆる面で様々なメリットがもたらされます。

自然環境分野の中心テーマ

- 農業との共存による自然環境保全

生活環境分野の中心テーマ

- ごみ減量化, 3R
- 化学物質等による環境悪化や健康被害の防止, 抑制

快適環境分野の中心テーマ

- 人口減少社会における住環境の向上

地球環境分野の中心テーマ

- 低炭素社会づくりの推進
- 気候変動への適応

6. 代表的指標の考え方

重点プロジェクト

各環境分野で、とりわけ力を入れて取り組むべき
施策・事業

個別計画と関連付け

代表的指標

優先順位の高い重点プロジェクトの実績

自然環境：今年度に策定を予定している谷津の保全指針

生活環境：一般廃棄物処理基本計画，環境基準

快適環境：緑の基本計画

地球環境：地球温暖化対策計画